

Sun Fire™ X4100 M2 Server



高速で、信頼性／拡張性／省エネルギー性に優れた
2～8ウェイx64サーバ



Highlights

- クラス最高水準のパフォーマンスを提供する、ラックマウントサーバ
 - デュアルコア／クアッドコアのAMD Opteron™ プロセッサに対応
- 業界標準仕様の基準を塗り替えるSun Fire™ X4000シリーズの優れた設計思想
 - エンタープライズ・クラスのRAS機能が実現する長時間のアップタイム
 - ネットワークの拡張性を最大に引き出す、4つの統合Gigabit Ethernetポート
- 省エネルギー設計
 - 電力／冷却コストを著しく削減
- Solaris™ OS／Linux／Microsoft Windowsなど、主要なOSに対応
- 標準装備のIntegrated Lights Out Management (ILOM)により、追加コストを発生させることなくシンプルなりモート管理が可能
- アプリケーション統合プラットフォーム
 - Solaris ContainersとVMWareを動作可能
 - Solaris Clusterをサポート
 - I/Oの拡張性を提供
- RoHS指令対応



Sun Fire™ X4100 M2サーバは、最新のAMD Opteron 2000シリーズプロセッサを最大2個搭載可能なエンタープライズ向けx64サーバです。AMD Opteronプロセッサの優れた演算性能と柔軟な拡張性、Sunが培ってきた信頼性／可用性／保守性／管理性といったエンタープライズサーバの経験を1Uの筐体に融合させたこのサーバでは、TCOを削減し、スケーラビリティに優れたデータセンターの実現が期待できます。Solaris OS／Linux／Microsoft Windowsで利用可能です。

Sun Fire X4100 M2は業界屈指のパフォーマンスを提供するだけでなく、TCOの削減、そしてデータセンター管理を簡素化しIT基盤を標準化できるキー・コンポーネントとしての役割を担います。最大2つのデュアルコアまたはクアッドコアのAMD Opteronプロセッサを搭載でき、ハードディスク搭載のモデルにはSolaris 10 OSとSun Java™ Enterprise Systemがプリインストールされ、32bitと64bit両方のアプリケーションの稼動が可能であり、業界標準を採用しています。このクラスのx64サーバの中で唯一、4つのGigabit Ethernetポートを備え、高速で広帯域幅のネットワークへの複数接続が可能です。容易なシステム管理を実現するべく設計されたこれら

のサーバには、Integrated Lights Out Management (ILOM)と先進のリモート・オートメーション機能が組み込まれているため、データセンター・レベルでの統合が可能です。数々のインタフェースを介して遠隔からの管理が可能なSun Fire X4100 M2のアーキテクチャが、導入／実装／保守の全てをシンプルに変えます。

Sun Fire X4100 M2は、Sunが提供しているソフトウェア／ストレージ／ネットワークなどの様々な製品との連携が可能であり、お客様のニーズに応える様々なサービス・ソリューションを提供します。

Sun Fire X4100 M2

Sun Fire X4100 M2の仕様	
プロセッサ	プロセッサ種別 1.8GHz デュアルコア AMD Opteron 2210 / 2.4GHz デュアルコア AMD Opteron 2216 / 2.6GHz デュアルコア AMD Opteron 2218 2.3GHz クアッドコア AMD Opteron 2356 プロセッサ数(最大) 1または2 コア数 2~4 2次キャッシュ 1MB/コア 共有3次キャッシュ — オプション・プロセッサ 1.8GHz デュアルコア AMD Opteron 2210 / 2.4GHz デュアルコア AMD Opteron 2216 / 2.6GHz デュアルコア AMD Opteron 2218 / 2.6GHz デュアルコア AMD Opteron 2218HE / 2.8GHz デュアルコア AMD Opteron 2220 / 3.0GHz デュアルコア AMD Opteron 2222 / 3.2GHz デュアルコア AMD Opteron 2224SE 2.3GHz クアッドコア AMD Opteron 2356
システム	アーキテクチャ チップセット メインメモリ スロット数 標準容量 最大容量 1.8GHz デュアルコア AMD Opteron 2210 / 2.4GHz デュアルコア AMD Opteron 2216 / 2.6GHz デュアルコア AMD Opteron 2218 / 2.6GHz デュアルコア AMD Opteron 2218HE / 2.8GHz デュアルコア AMD Opteron 2220 / 3.0GHz デュアルコア AMD Opteron 2222 / 3.2GHz デュアルコア AMD Opteron 2224SE 2.3GHz クアッドコア AMD Opteron 2356 8.0GB/秒 1GHz HyperTransport 16x16 リンク NVIDIA nForce Professional 2200 PC2-5300 DDR2-667 registered DIMM、ECCおよび拡張ECC機能付き 8(プロセッサあたり4スロット) 2GB(1GBx2) / 4GB(1GBx4) / 8GB(2GBx4) 32GB(4GBx8) 32GB(1プロセッサあたり16GB。増設単位は2GB(1GBx2)、4GB(2GBx2)、8GB(4GBx2))
メモリ	ハードディスクドライブ 標準 オプション 最大 リムーバブル 記憶装置(最大1)*1 標準 オプション SAS : 73GB 10,000回転x2台または146GB 10,000回転x2台または無し(オプション) SAS : 73GB 10,000回転 / 73GB 15,000回転 / 146GB 10,000回転 SAS : 146GB 10,000回転x4台(DVDRドライブを搭載可能な筐体では2台) DVD-ROM/CD-RWx1台または無し DVD-ROM/CD-RWまたはDVD-RW
システム内蔵記憶装置	インターフェース SAS(ホットプラグ対応) 2.5inchドライブ SAS : 146GB 10,000回転x2台または無し(オプション)
標準インターフェース	Ethernet 管理用ネットワーク シリアル USB PCI拡張スロット グラフィックス キーボード/マウス 10/100BASE-T(サービスプロセッサ専用)x1(RJ45) 1(RJ45。標準ではサービスプロセッサと接続) USB 2.0(前面x1、背面x2) 2(ロープロファイル) オンボード ATI RageXL、VGA(DB15) USBポート対応
サービス・プロセッサ	ILOMサービス・プロセッサ・SSH経由でのDMTF CLPベースCLI / HTTPS/HTTP経由でのWebベースのGUI / IPMI 2.0 / SNMP V1、v2cおよびv3 / Ethernet経由でのリモートグラフィカル・アクセスおよびEthernet経由でのリモート・ストレージ
電源	定格電圧 100~240V 定格周波数 50~60Hz 定格電流 7A@100V 入力電流 7A@100V 消費電力*2 700VA 665W 発熱量 2,270BTU/時 2,400KJ/時 台数 標準 2台(高効率AC) 最大 ACまたはDC電源いずれか2台(2台搭載時N+1冗長構成)
省エネ法に基づくエネルギー消費効率*3	1.8GHz デュアルコア AMD Opteron 2210 区分:c 0.020W/MTOPS 2.4GHz デュアルコア AMD Opteron 2216 区分:c 0.015W/MTOPS 2.6GHz デュアルコア AMD Opteron 2218 区分:c 0.014W/MTOPS 2.6GHz デュアルコア AMD Opteron 2218HE 区分:c 0.014W/MTOPS 2.8GHz デュアルコア AMD Opteron 2220 区分:c 0.013W/MTOPS 3.0GHz デュアルコア AMD Opteron 2222 区分:c 0.012W/MTOPS 3.2GHz デュアルコア AMD Opteron 2224SE 区分:c 0.011W/MTOPS 2.3GHz クアッドコア AMD Opteron 2356 区分:c 0.0046W/MTOPS
寸法(突起物含まず)と重量 幅/奥行/高さ/最大重量	44.5cm / 64.0cm / 4.38cm(1U) / 18.6kg(ラックキット含む)
動作環境(単体使用時)	温度 動作時 / 非動作時 5°C ~ 35°C / -40°C ~ 65°C 湿度(結露しないこと) 動作時 / 非動作時 10~90% RH / 93% RH 高度 動作時 / 非動作時 3,000m / 12,000m 振動 動作時 / 非動作時 0.10G、5~500Hz(正弦波振動XY軸方向) / 0.15G、5~500Hz(正弦波振動Z軸方向) / 0.25G、5~500Hz(正弦波振動XY軸方向) / 0.5G、5~100Hz(正弦波振動Z軸方向) 衝撃 動作時 / 非動作時 3.0G、11ms(正弦半波、全方向) / 1inch Roll-off testing、20mm step-up Threshold testing 騒音 動作時 8.3bels
主な準拠規格*4	下記の条件に適合またはこれを上回る 安全性 UL60950、EN60950、他 RFI/EMI EN55022 Class A、VCCI Class A、他 イミュニティ EN55024、他
オペレーティングシステム*5	Solaris OS Solaris OS 6/06以降の各リリース(ハードディスク搭載済みのモデルにはプリインストール) Red Hat Enterprise Linux 4(64bit) Microsoft Windows Server 2003 SP1以降**2、Microsoft Windows Server 2003 x64 Edition**7
ラックマウント(ラックマウント・キットはオプション)	・スライドレール・キット: Sun Rack 900-38、Sun Rack 1000-38、Sun Rack 1000-42、EIA 310-D準拠19inchラック(4ポストで前後の支柱の取り付け間隔が610mm~915mm)。 ・エキスプレースライドレール・キット: Sun Rack 900-36N、Sun Rack 900-36N、Sun Rack 900-38、Sun Rack 1000-38、Sun Rack 1000-42、EIA 310-D準拠19inchラック(4ポストで前後の支柱の取り付け間隔が610mm~915mm、取り付け穴がM6ネジまたはケージ・ナット用の6角穴。取り付け穴のネジ規格が#10-32の場合には適合しません。)

*1 DVDドライブ・ベイを持つ筐体と持たない筐体があります。持たない筐体にDVDドライブを取り付けることはできません。

*2 定格電流をもとに算出したものです。実消費電力ではありません。

*3 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

*4 適合している規格の中から、代表的なものを記載しています。

*5 詳細および最新の情報は<http://www.sun.com/servers/entry/x4100/os.jsp>(英語)をご覧ください。

*6 これらのオペレーティングシステムは、直接弊社より提供していません。

*7 OSベンダによる動作認定。

本製品の保証内容の詳細については、<http://jp.sun.com/service/support/warranty/>をご覧ください。

サン・マイクロシステムズ株式会社

本社	〒158-8633 東京都世田谷区用賀4-10-1	SBSタワー	電話(03)5717-5000(代)
山王オフィス	〒100-6160 東京都千代田区永田町2-11-1	山王パークタワー12F	電話(03)4232-2400(代)
神宮前オフィス	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-4-11		電話(03)5843-1100(代)
名古屋支社	〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-22	栄928ビル6F	電話(052)264-4611(代)
大阪支社	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-8-15	野村不動産大阪ビル5F	電話(06)6265-5700(代)
九州支社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22	福岡SRPセンタービル9F 901-A	電話(092)834-0101(代)
つくば営業所	〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1	つくば三井ビルディング11F	電話(0298)51-2210(代)
豊田営業所	〒471-0833 愛知県豊田市山之手5-73-1	山之手ビル7F	電話(0565)25-5701(代)
ホームページ	http://jp.sun.com/		

Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 USA Phone 1-650-960-1300 or 1-800-555-9SUN Web sun.com

© 2008 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. ●Sun, Sun Microsystems, Sunのロゴマーク, Solaris, Solarisのロゴマーク, Sun Fire, Java, Java Coffee Cupのロゴマークは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●AMD, AMD Arrowロゴ, AMD Opteronならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。資料の内容は、お断りなしに変更することありますのでご了承ください。

本誌は植林・森林認証取得木材および古紙パルプ配合による再生紙と「大豆インキ」を使用しています。

